

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第2回所沢市入札監視委員会
開 催 日 時	令和6年11月18日(月) 午後1時30分から
開 催 場 所	所沢市役所4階 入札室
出 席 者 の 氏 名	新井 昌行(埼玉県川越県土整備事務所 所長) 小寺 智子(弁護士) 織田 智美(公認会計士)
欠 席 者 の 氏 名	なし
議 題	1 入札及び契約手続の運用状況等の報告 2 審議事案の抽出結果報告 3 抽出された事案の審議 4 その他
会 議 資 料	1 会議次第 2 入札方式別発注工事総括表 3 入札方式別発注工事一覧表 4 入札参加停止等の措置状況総括表 5 入札参加停止等の措置状況一覧表 6 抽出事案説明書
担 当 部 課 名	【担当課等】 (建設部) 営繕課 中嶋課長、飯田主幹、吉里副主幹、三上主任、 崎山主任 道路建設課 岩崎課長、木下主査、田中主任 (上下水道局) 総務課 中澤課長、羽賀主査、樋川主査 下水道整備課 村上課長、井上主査、齋藤主査 給水管理課 坂野課長、大橋主査、上原主査 【事務局】 井上総務部長 契約課 古沢課長、小暮主幹、清水主査、日下部主査

発言者	審議の内容
<p>委員 総務課</p> <p>委員 下水道整備課</p> <p>委員 下水道整備課</p>	<p>議 事</p> <p>1 入札及び契約手続の運用状況等の報告</p> <p>令和6年4月1日から令和6年9月30日までの市、上下水道局発注工事における入札方式別件数及び金額、入札参加停止等の措置状況について事務局より報告を行った。</p> <p>2 審議事案の抽出結果報告</p> <p>審議対象となる事案の中から、分割発注した事案1件、特命随意契約事案1件、応札者1者の事案1件、低入札事案1件、入札者が少なく高落札率の事案1件の計5事案を抽出した旨、抽出の担当委員より報告があった。</p> <p>3 抽出した事案の審議</p> <p>(1)「下水道地震対策整備工事(6-4)」 「下水道地震対策整備工事(6-2)」</p> <p>抽出理由：敢えて2本に分けて発注している。</p> <p>連日の開札となっておりますが、敢えて2本に分けて発注した理由を伺います。競争性を高める工夫はできなかったのでしょうか。</p> <p>開札は発注準備が整った順に行うため、結果的に連日となりました。2本に分けることにより、発注者及び受注者において工事管理が容易となり、市民からの苦情や要望に対して早急に対応することが可能となります。</p> <p>また、一般競争入札を採用し、入札参加資格対象者数は24者のため、競争性を十分確保していると認識しています。</p> <p>この規模の工事だと、1者入札の事例はあまり見られないのですが、過年度も同種の工事では応札者が少ない傾向ですか。</p> <p>今年度は地震対策の工事が6箇所あり、そのうち5箇所が下水道管の耐震工事です。耐震化には様々な手法がありますが、業者にも工事の種類に応じて得意不得意がある中で、今回は1者のみが応札したものと考えています。</p> <p>働き方改革や地元企業を育てることを考えると、この規模の工事であれば、同時に発注し、一抜け方式で別々の業者に応札してもらう方が良かったのではないかと考えます。1者しか応札できていないことを考えると、もっと多くの業者に手を挙げてもらえるような工夫を今後考えていただければと思います。</p> <p>既存の下水道管をそのまま使うという認識で良いですか。</p> <p>昭和30～40年代に埋設した下水道管はすでに50年以上が経過しています。耐震性や経年劣化などの課題も見られるため、マンホールの中から更生材料を入れて下水道管を複合管のようにして、下水</p>

発言者	審議の内容
委員	道管の接続部分である継ぎ手部分を強化するとともに、下水道管の中の流れを良くする工事です。
下水道整備課	耐震化には工法が様々あるとのことですが、市内には複合管工事を受注できる業者が少ないという認識で良いですか。
委員	複合管工事に精通している業者は限られてくると認識しています。
下水道整備課	耐震化する工法は場所によって異なっても良いのですか。
委員	そのとおりです。工法としては様々ありますが、通過交通や周辺住民への影響、経済性などを考慮した結果、今回発注した工法を採用しています。
委員	今回の入札参加資格を市内業者に限定せず、もう少し広げて良いのではないかという意見がありました。その場合、条例や内規を変更する必要がありますか。
総務課	必要ありません。
委員	今年度、これら2件以外の工事は別業者が落札したのですか。
下水道整備課	そのとおりです。
委員	過年度の工事は今回とは別の業者が受注していたのですか。
下水道整備課	他の市内業者が落札しました。
委員	工事管理のしやすさを理由に別工事にしていますが、応札できる業者が少ない中で、2つの工事を合わせた方が工事金額も下がるのではないかという検討はしましたか。
下水道整備課	特に検討はしていませんが、5件を1件の工事にまとめると、工事期間が長くなり単年度で終わらなくなることや、市や請負業者の工事担当者にも負荷がかかることを考えて分けています。
委員	確かに5件を1件にまとめると、大きくなりすぎるかと思いますが、受注できる業者が3者くらいしかいないことを考えると、5件に分けることが妥当だったかは検討すべきであったと思います。
委員	(意見)
委員	応札可能者数が10者となっていますが、金額ありきの業者数ではなく、過去の施工実績等を踏まえ、実際に応札可能な業者が何者いるのかをフィルターにかけるなど、現実性や競争性を確保できるよう、もう少し工夫があっても良いのではないかと思います。
委員	入札参加資格を市内業者に限定していますが、県のアドバイスも頂きながら、市外業者ではいけないのかを再検討する必要があるのではないかと思います。
契約課	落札可能な業者数を把握し、必要に応じて市外業者も入札に参加できるよう考慮しています。
委員	入札参加者が1者というのは競争が働いていないと感じます。このような結果になるのであれば、場所も近く同じような工事をまと

発言者	審議の内容
委員	<p>め、最小の費用で発注できなかったのかと思います。</p> <p>(2)「西部加圧ポンプ場1号池県水受水残留塩素計更新工事」 抽出理由：一者特命随意契約とした理由。 一者特命の随意契約となっていますが、その理由と手続き等について伺います。</p>
総務課	<p>製品の一部である検出器及び変換器等の更新となり、同一の製造メーカーでなければ専門的サポートや品質保証が難しく、既設置との互換性に問題が生じる可能性もあり、トラブル発生時の対応も困難であるため、一者特命随意契約としました。</p>
委員	<p>手続きについては、設計・積算を行い、予定価格を設定し、見積合わせを行いました。積算根拠については、下水道用設計標準歩掛表及び埼玉県労務単価を使用し、公共建築工事標準単価積算基準に基づき決定しました。部材は建設物価等資料掲載価格と製造メーカーから見積もりを徴取し積算しました。</p>
給水管理課	<p>何かあった時のトラブルを考えると、製造メーカーの部品を使用したほうが保障面で良いということですか。</p>
委員	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>工事は施工済みですか。</p>
給水管理課	<p>これから施工する予定です。</p>
委員	<p>一者特命随意契約の場合、2回くらい入札しても落札せず、この業者しかできないからというケースと、最初から他の応札者は期待できないからというケースがありますが、後者の考え方でよろしいですか。</p>
給水管理課	<p>そのとおりです。</p>
委員	<p>更新の場合、製造メーカーと随意契約する事例が他市でもありますので、問題はないと思います。</p>
	<p>(意見) なし</p>
委員	<p>(3)「所沢市庁舎基幹設備改修工事」 抽出理由：応札者が1者のみとなっている。</p>
契約課	<p>設備工事は応札者が少ない傾向にあります。応札者を増やす工夫はなされたのか伺います。</p>
委員	<p>結果として1者応札となりましたが、1者では参加困難な大規模工事をJV案件としたことで、市内事業者をはじめ受注機会の拡充につながったと考えています。</p> <p>JVなので市内業者だけではなく、市内業者も参加しつつ、市外業者とも組んで参加してもらおうという条件など、発注の時点で市内</p>

発言者	審議の内容
委員	<p>業者に配慮しつつ、市外からも受け入れようとなっていることを考えると妥当であると考えます。</p> <p>利益率がJVだと良くない、単体の方が良いという状況から、入札されないこともあると聞いたので、事案によってはJVと単体の併用を今後検討しても良いかと思います。</p> <p>55億円は大規模な工事だと思います。入札参加資格については「所沢市特定建設工事共同企業体取扱要綱」(以下「要綱」という。)に基づいたと説明がありましたが、具体的には資料に書かれている入札参加資格の内容でよろしいですか。</p>
契約課	<p>要綱第8条の内容は、所沢市の登録名簿に登載されている業者であること、JVの場合は3者で構成することなどを規定しています。</p>
委員	<p>要綱だけではなく工事によって個別に検討し、要件を加えているということですか。</p>
契約課	<p>そのとおりです。過去の工事を参考にしたり、担当課において対応可能な業者規模を検討した結果、工事に応じて設定しているものです。</p>
委員 営繕課 委員	<p>この工事は大規模ですが、期間はどのくらいですか。</p> <p>令和9年3月15日までです。</p> <p>これだけの大規模な工事だと難しいのかなと思いますが、落札率が99.98%であること、参加者数を見ると、競争性が働いていないのかなと思われますがどうですか。</p>
営繕課	<p>今回の工事は本庁舎なので、平日は機能を止めることができず、施工できるのが夜間・土日・祝祭日に限られます。職人を集めることに費用が掛かることや工事管理も大変なので、それなりに高い金額での応札になったと推測されます。</p>
委員 営繕課	<p>かなり工事に制約があるということですね。</p> <p>空調の機械を入れ替えるのですが、事務室の中で作業することになるので、平日の昼間は難しく、相当制約がかかってきます。</p> <p>夜間の工事では、一定の人数を限られた時間の中で動かすので、相当大きな企業でないと難しい状況です。</p>
委員	<p>一件目の案件では業者を市内限定にして応札1者であったのに対し、この工事は門戸を広げたにも関わらず、結果的に1者だったということで、担当課としては1者でも応札があって良かったというのが正直なところかと思います。</p>
契約課	<p>何かあった時の対応として、市内業者にも1者入っていただくという条件を付けましたが、それでも難しいのであれば、委員長からご意見いただきましたが、単体という対応も考えていく必要があると思います。</p>
委員	<p>令和8年度末までの工事金額が約55億円ですが、予算はどのよう</p>

発言者	審議の内容
営繕課 委員 営繕課 委員 契約課	<p>になっていますか。</p> <p>継続費として毎年の出来高を想定した上で、年割で3か年分を確保しており、毎年、その一部を支払います。</p> <p>例えば、今年度は15億円というように振り分けているのですか。そのようなイメージです。</p> <p>インフレスライドは適用になる工事ですか。</p> <p>適用になります。</p>
委員	<p>(意見)</p> <p>今後、受注環境を見たときにJVと単体の混合入札なども検討しても良いかと思えます。</p>
委員	<p>大規模な工事なので、市民への説明を十分にしていると思えます。大変関心も高いと思うので、工事内容を概要でまとめるのではなく、詳細を分かるようにした方が透明性が高まると考えます。</p>
委員 契約課	<p>(4)「所沢市立所沢図書館照明LED化改修工事」</p> <p>抽出理由：落札率87.01%の低入札である。</p> <p>他LED化工事でも低入札傾向となっていますが、見積りや歩掛の採用方法、積算基準等の公表状況などについて伺います。</p> <p>積算については、国土交通省監修公共建築工事積算基準に基づいて適正に実施しています。また、見積りは3者から取得し安価な見積りを採用し、歩掛は国土交通省の基準を採用、経費等も国土交通省基準のため、公表されています。</p>
委員	<p>国の歩掛りや見積りも3者のうち最も安価なものを採用されているとのことですが、建設業の健全な発展を考えると低入札傾向にあったので、見積りが上触れしているのではないかと懸念しましたが、見積りも最も安価なものを使っているのか、これ以上は下げようがないというのが営繕課の考えですか。</p>
営繕課 委員	<p>はい。設計金額については妥当だと考えています。</p> <p>設備などは県は独自の基準を持っていて、見積りは価格が高めに出る傾向があることから、0.6掛けしたりしていますが、所沢市はそのような歩掛りを運用していますか。</p>
営繕課 委員 営繕課 委員	<p>県設備課の基準を参考に、市の基準を作成し、使用しています。利益率があるから競争性が働いたという認識ですか。</p> <p>そのとおりです。</p>
営繕課	<p>入札価格が調査基準価格を下回っていたため、落札決定を保留していますが、その間の調査内容を伺います。</p> <p>「所沢市建設工事低入札価格取扱要綱」に基づいて調査をしていますが、なぜこの安価で入札できたのか、また不当なダンピングが行われていないかなどを確認しています。</p>

発言者	審議の内容
委員 営繕課	使用する資材を安価で入手できたことを確認しているのですか。 そのとおりです。
委員	見積を出してもらったり、不当に法定福利費が下回っていないかの確認をしているということですか。
営繕課 委員	そのとおりです。 別の案件では、資材を安価で購入できる業者だったという事例がありました。今回の件はどうなのでしょう。
営繕課	今回の案件も調査の中で一括大量購入ができるため、通常より安価で済むとの話はありました。
委員	施設が老朽化してきているという話ですが、LED以外に図書館の工事は予定されているのでしょうか。
営繕課	図書館を管轄していないので、明確な回答はできませんが、耐震化や空調、受水槽などの工事も完了しているので、最後の大規模改修になるのではないかと思います。
委員	これで一段落して、何十年間は大丈夫ということですか。
営繕課	そのとおりです。
委員	工事は既に終わったのですか。
営繕課	現在施工中で、進捗状況は約半分です。
	(意見) なし
	(5)「寿町駐車場整備工事」 抽出理由：入札者が少なく落札率99%と高い。
委員	施工性もよく短期間で終わられる工事に思えますが、入札者が少なく、落札率99%と競争性が働いていない要因について伺います
契約課	河川工事は河川管理者との協議が求められるとともに、非出水期での工程管理が必要な現場のため、現場管理等に経費を要し、落札率が高くなったものと考えられます。
委員	工事名から、ほ装工事のみだと思いました。ほ装工事は落札率が低い傾向にありますが、この案件の落札率が高かったので気になりました。一般的な駐車場整備工事ではなく、構造物があって、県の管理する一級河川で出水期には工事できないなどの制約があるため、このような結果になったという認識で良いですか。
道路建設課	そのとおりです。通常の工事より現場管理が求められるためと考えています。
委員	入札参加者の辞退理由を教えてください。
道路建設課	2者ありますが、1者は入札参加資格ではない業者であったこと、もう1者は期限までに入札書が届かなかったということです。
委員	河川の制約がある工事だと、予定価格に近い落札金額になってし

発言者	審議の内容
道路建設課	まうのですか。
委員	河川工事の場合、現場管理に係る経費が大きくなるため、落札率が高くなったと推測されます。
道路建設課	今回の護岸工事は駐車場の部分に対応する擁壁だけなのですか。
委員	そのとおりです。その結果、周辺の護岸や擁壁が一体的になります。
委員	入札書不着の理由は確認しましたか。確認していない場合はどのような理由が推測されますか。
契約課	電子入札の場合は、入札前に申し込みをすることになっており、1者は入札日に札が入らなかったということです。
委員	理由は確認しないのですか
契約課	特に確認しません。
委員	河川工事は競争性が働きにくい傾向だという話ですが、どのような工夫をすれば競争性が働くと考えられますか。
道路建設課	市内業者育成の観点から、原則は市内業者に限定していますが、入札参加資格の範囲を広げることが考えられます。
委員	市内業者限定は育成のためには仕方のないことですか。
道路建設課	現時点では、そのように考えます。
委員	仕方がないで終わらせるのではなく、工夫が必要ではないかと考えます。
	(意見)
	なし
委員長	委員から頂いた意見については、意見具申ということではなく議事録をもって市長に報告します。
	4 その他
	なし
	次回の審議事案の抽出について
	審議事案の抽出委員：織田委員